平成　28　年度事務事業評価表（一般用）

①事務事業名		担当部課	部課コード	060400	TEL	2998-9120
事業コード 060420	敬老行事開催支援事業		高齢者支援課			
開始年度　昭和49　年度　→　終了年度　年度			グループ	庶務生きがいグループ		

②事業の概要					
事業の種別	■ 自治事務　□ 法定受託事務　□ 法定受託＋附加			根拠法令	
分野別計画・指針				老人福祉法	
関連・類似事業					
総合計画の体系	章	健康・福祉	節	高齢者福祉	基本方針	生きがい支援の充実を図ります
事業開始の背景	敬老会行事は、昭和26年に全国社会福祉協議会が国民的行事として行い、以来、全国的に行われてきた。当市においても当時の市民会館のみで開催していたが、昭和49年からは社会福祉協議会を中心に各地区で開催するようになった。平成17年度から各地区敬老会行事実行委員会の主催により事業を実施している。				

③事業の内容

目的（どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に）

長年に渡り社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、広く地域住民が高齢者福祉に理解と関心を深めるために、高齢者の長寿を祝う敬老会行事を地域で開催する。

対象（誰を、何を対象としているのか）	対象数	単位			
75歳以上の高齢者			平成　26　年度	36,224	人
			平成　27　年度	39,103	人

事業の具体的な内容及び実施方法

①敬老会行事検討委員会を開催する。 ②各地区実行委員会を決定する。 ③実行委員会を開催する。 ④会場ごとの対象者に郵送等により招待状を配付する。
⑤敬老の日を中心に市内公民館等で敬老会行事を開催する。⑥市は各地区ごとに高齢者数・会場数等に応じ、補助金を交付する。

④経費

≪会計種別≫	一般会計	平成　26　年度（千円）		平成　27　年度（千円）		平成　28　年度（千円）
予算現額		32,231		33,026		34,358
決　算（見込み含む）		30,441		32,160		
（非常勤特別職員）	（臨時的任用職員）	（0.00 人）	（0.15 人）	（　人）	（　人）	
正規職員人件費		0.45 人	3,924	0.59 人	5,109	
事業費合計		34,365		37,269		
財源内訳	一般財源	34,365		37,269		34,358
	国・県支出金	0		0		0
	その他（　）	0		0		0

※「財源内訳」について
平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑤実績

	項目名	項目説明	単位		H 26	H 27	H28見込み	将来目標
活動実績	参加率	参加者数/対象者数	%		18.1	17.2	18	20
	地区実行委員数	当日参加者数（協力者数）	人		1,981	2,430	2,500	2,500

⑥成果

	項目名	項目説明	単位		H 26	H 27	H28目標値	将来目標
成果指標	参加人数	同左	人	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000
				実績	6,545	6,744	☑「実績」拡大図る　□「実績」縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	94	96	↑どちらかをチェックしてください	

⑦改善点

(1)平成27年度中に改善した点（改善内容・その結果について記載してください）	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
地区の状況に合わせて、会場数を増やして対応した。	高齢者については、当日の体調等により急遽欠席されることもあるため。

⑧評価

評価		今後の方向性			
☑ 継続		事業実施方法（複数選択可）	□ 拡大　□ 縮小　☑ 改善・効率化　□ 現状維持　□ その他	理由	対象者が増加する中では、事業の実施方法を見直しながら対応することが必須のため。
□ 終了		次年度予算	□ 拡大　□ 縮小　☑ 現状維持	理由	対象者が増加する中で予算の増加も懸念されるが、見直しを行いながら現状維持を継続していく。

(1)平成２８年度に取り組んでいる状況	(2)今後の方向性
各地区の運営を圧迫しないよう予算面を配慮している。	対象者の増加に対応するためには、内容の見直しが必要になっている。

評価日	H28.8.19	評価者職氏名	高齢者支援課長　池田　隆人

⑨環境影響

有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	開催会場におけるゴミ等の排出	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無